

医療経営士としてのさらなる飛躍を目指して

非医師職の生産性を どう評価するか

☆医師以外の医療従事者の生産性について臨床工学技士の業務を例に検討!

地域密着型研究会「神奈川研究会」の第19回の開催が決定しました。今回は相嶋一登氏（横浜市医療局病院経営本部課長補佐／横浜市立市民病院臨床工学部）を講師にお招きして開催致します。

医療経営において生産性向上は重要なテーマです。チーム医療が推進され、多職種が協働して医療が行われる中、それぞれの職種の生産性を可視化することが求められています。また、昨今の医師の働き方改革問題に伴い、非医師職へのタスクシフティング/タスクシェアリングを進める上でも生産性の評価は必要です。

今回は臨床工学技士の医療現場での活躍を例に病院経営への貢献をどのように評価するかについてお話いただきます。皆様が実践の場で活かせるヒントを見いだす機会として、活用いただきたく存じますので、この機会にふるってご参加いただけますようお願い申し上げます。

【開催概要】

- 日時：2019年1月18日(金) 19:00~20:45
- 場所：かながわ県民活動サポートセンター 会議室301
(神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)
- 講師：相嶋 一登 氏
横浜市医療局病院経営本部課長補佐、横浜市医療局医療政策部医療政策課担当係長(兼務)
横浜市立市民病院臨床工学部
- 定員：50名
- 参加費：【協会会員様】1,000円 【非会員様】3,000円
※研究会終了後に懇親会の開催を予定しております！（別途費用3,000円予定）
- 主催：日本医療経営実践協会 関東支部

1月18日
開催!

講師紹介

相嶋 一登 氏

横浜市医療局病院経営本部課長補佐、横浜市医療局医療政策部医療政策課担当係長(兼務)
横浜市立市民病院 臨床工学部医療機器管理担当係長、医療安全管理室担当係長、血液浄化センター担当係長
一般社団法人日本集中治療医学会理事／一般社団法人神奈川県臨床工学技士会理事
臨床工学技士、呼吸治療専門臨床工学技士

《 FAX送信用参加申込書 》

FAX : 045-576-3525

※ メールでの参加申し込みも可能です。下記情報を y_kinjo@tobu.saiseikai.or.jp までお送りください

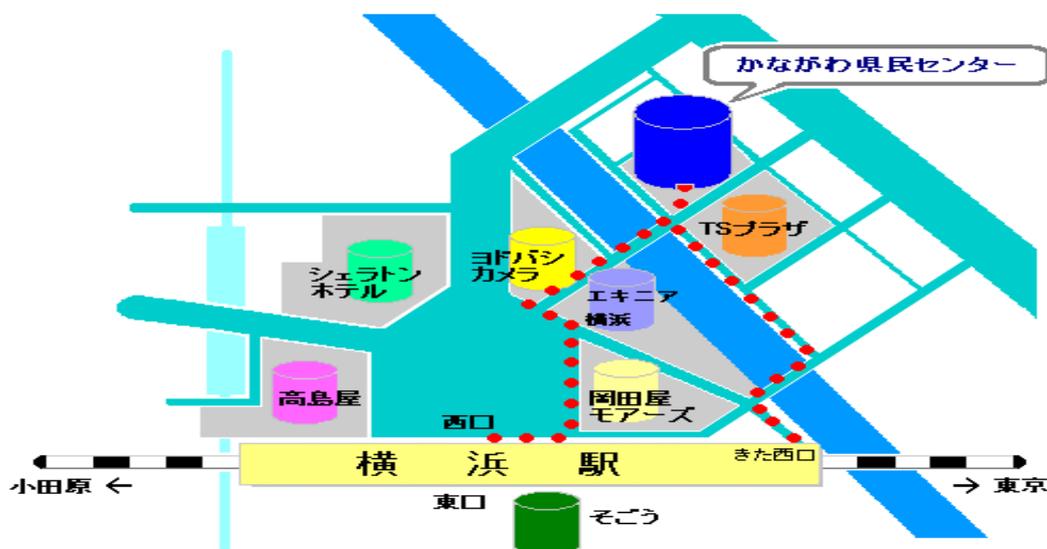
お名前			
認定登録番号	※ 無い場合は「無し」と記載してください。		
貴院名・貴社名		部署・役職	
TEL		メールアドレス	

※ 受講票をメールでお送りしますので、必ずご記入ください。
 ※ 複数名でお申し込みの場合、代表の方についてご記入ください。

研究会 参加人数	名 (うち非会員様 名) ※ 参加費として、会員様 1,000円/名、非会員様 3,000円/名 頂戴しております。
懇親会 参加人数	名 ※ 別途、3,000円/名程度、実費精算をお願いしております。

第19回 神奈川研究会 開催要項

- 【日 時】：2019年1月18日(金) 19:00 ~ 20:45 (受付 18:40~)
- 【場 所】：かながわ県民活動サポートセンター会議室 301(横浜市神奈川区鶴屋2-24-2)
- 【講 師】：相嶋 一登氏(横浜市医療局病院経営本部 課長補佐)
- 【テーマ】：非医師職の生産性をどう評価するか



問合せ先：日本医療経営実践協会 関東支部 神奈川研究会 運営事務局
 済生会横浜市東部病院 医事企画室 金城 (045-576-3000(内線9707) 平日昼間のみ)